

## 学校三役と六葉会三役との懇談会議事録

軽食：18:30～19:00 ラウンジにて

懇談：19:00～21:00 会議室にて

出席者：黒畑校長先生・安藤事務長・澤教頭先生・石川教頭先生(学校より4名)

島根会長・高橋副会長・野澤幹事長・萩原副幹事長・高石副幹事長

中田学校担当幹事・近田会計・芹田会計(六葉会より8名)

司会：野澤幹事長

### 1. 六葉会三役自己紹介

新校長、新事務長と初めての方が多いため各自自己紹介。

### 2. 黒畑校長先生挨拶

経歴と関東学院六浦中高の発展に向けて使命感を持って臨まれている事を熱く語っていただきました。

### 3. 安藤事務長挨拶

新校長とともにこの学校の改革に向けて取り組んでいく思いをお話しいただきました。

### 4. 懇談

・母校サポートプロジェクト

・調査依頼について(在校生の卒業生の子女リスト)

(高橋副会長)本年初頭に増田理事長とお話をさせていただいた中で、後3年ほどの中で生徒を増やしていかなければならないと感じ六葉会として何ができるかを考えました。

同窓会としてできる事はとても少ないですがいろいろと六葉会常任幹事会で意見交換をしました。使えるお金も500万円ほどしかありませんが何らかの形で拠出して少しでも学校のためになることをやっっていこうということになりました。

六葉会会員の子息、孫の入学ということになった場合入学金相当額を差し上げる企画を考えました。入学金がもらえるから入学させようということではなく、六葉会の中での声かけ運動的な発想でこれを期に仕組み作りとして1年間250万円、2年間で500万円を予算として計上します。

学校から相談があれば対応したいと思いますが六葉会では、このような事業を考えています。現場は先生方に頑張ってもらいたくはないので、卒業生の現役先生方との懇談も開かせていただきたいと思います。現在の卒業生の父兄がどのくらいいるのか、六葉会では把握していないので教えていただきたいと思います。

(野澤幹事長)来年、再来年の募集をどうするか。まず受験生を増やしてから教育の中身で勝負する学校にしておくことを考える。いくら良い教育をしようとしても生徒が少ないのでは先生方も張合いがありません。このプロジェクトは六葉会自体がポジティブにこういう活動をすることで、会員の意識が変わることの方が大きな効果だと思います。

本当は六葉会で恒久的に奨学金が出せるくらいの規模になるのが理想です。学校が大いに利用させていただいて来年の募集につなげていただきたいと思います。学校の先生にお話しして、一人でも多くの新入生を紹介する活動を展開したいと思います。今年の入学生のうちどのくらい卒業生の子女がいる

のかがわからないので人数を調べて、六葉会にお知らせいただければ予算も立てやすいと思います。入学者の内訳を調べていただきたいと思います。

- ・ 恩師の動画について

(野澤幹事長)本日HPがリニューアルされアップされています。最近の卒業生は母校に対する関心が強いようですが学校に来るきっかけが見つからないようです。現在HPに載せている恩師の動画はご引退された先生方のものですが、現役の先生方のお顔も見たいようです。もっと簡単な、教員室を通り抜けながら撮影するような動画を載せさせていただけると若い卒業生たちも喜んでくれると思います。本当は学校で撮影して編集したものをいただければありがたいですが、お忙しい中、難しいと思いますので許可をいただき校内で撮影させていただき、内容をチェックの上HPに掲載できればと思います。

- ・ 総会について

(野澤幹事長)5月17日午後1時から総会を予定しています。この第一会議室で開催する予定です。施設の利用に関しては前校長に許可をいただいております。黒畑校長先生にはご挨拶をいただきたいと思います。伊藤宗教主任がご不在とのことで他の宗教の先生に略式の礼拝(聖書・メッセージ・お祈り)をお願いします。明日にでもメールいたします。

- ・ 常任幹事会について

(野澤幹事長)毎月学校内で開催しています。これまで同様おひとりでも出席していただきたいと思いますのでお願いいたします。

- ・ フリートーク

(黒畑校長先生)入学金の件、とてももったいないなと思います。

(野澤幹事長)具体的な形のあるものにして基盤としての活動と考えています。たとえば2年間で500万円を使えたとすればどんな事をされますか？

(黒畑校長先生)上手に使えば魅力ですが、教育の中に反映されるようなものを形にする方が効果が出るように思います。著名人の講演会や日経新聞の広告、チラシなど。これからもっと考えてみます。土曜日にもっと教員を付けたり個別指導塾から講師を借りてくるとか、放課後学習など。朝のテストを担ってくれるとか、スペシャル講師など。10年後の子どもの育成を考えているのでこういう講演会をやりますとか、交流プログラムを組むがお金がかかるのでそこに支援をしていただくなど。500万円が生きるのではないかと思います。

(安藤事務長)募集の訴求で考えるならば、来年からパソコンを1年生から持たせるとすればその一部を同窓会がサポートしますよという方がいいような気がします。

(黒畑校長先生)5クラス7展開のEラーニング、500万円ほどかかる。

(野澤幹事長)学校からの強い要望があればそれが実現できると思います。総会での趣旨説明を含めて学校が説明していただければ5月17日(土)までのタイムリミットで決めていただければと思います。